

東邦キャンパス

平成 22 年 (2010 年) 7 月 1 日

発行 学校法人 東邦学園

〒465-8515 名古屋市名東区平和が丘 3 丁目 11 番地

TEL 052 (782) 1241 FAX 052 (781) 0931

H P click 検索  愛知東邦大学
東邦高等学校



活躍次々と 運動クラブ

課外活動に力がみなぎっています。東邦高校も愛知東邦大学もスポーツ系クラブが、輝かしい成果をあげているのです。

写真をご覧ください。高校サッカー部が高校総体県予選で 2 年ぶりに優勝、松井優太キャプテン＝写真右から 2 人目、西原希副キャプテン＝同 3 人目らに、高校中庭で 6 月 8 日、榊直樹校長から優勝旗などを手渡しました。日本代表選手も擁する他校に対し、本校は「チーム一丸、最後まであきらめない」(横井由弦監督)姿勢で、決勝リーグをすべて 1 点差で競り勝ち、沖縄総体出場を決めました。沖縄大会には空手道とアーチェリーも出場します。



硬式野球部は春季県大会で 21 年ぶりの優勝です。決勝は昨夏の全国制覇・中京大中京のエースに、強打を浴びせて 11 - 5 の圧勝。21 年前はセンバツで全国優勝しており、今夏の甲子園出場に熱い期待がかかります。

大学では愛知大学野球連盟の 2 部に昇格した硬式野球部が、春季リーグ戦で勝ち点 2、入替え戦にも踏み止まって、秋季も 2 部で戦うことになりました。(18~21 頁に関連記事)

左の写真は 5 月 9 日の「名東の日」に、大学のコンディショニングセンターで、大学生が地元の方々にトレーニングの手ほどきをしている様子です。学園はいつも地域とつながっています。

東邦高校

「教育改革二年目の風景」

高校教頭 長沼 均俊

制服のマイナーチェンジ 今春、高校の入学式は、昨年までと少し雰囲気が変わりました。その大きな理由は、新入生が着ていた制服のマイナーチェンジにあります。東邦のブレザータイプの制服は、昭和60年に他私学に先駆けた男女共学とともに採用され、当時の制服“後進県”といわれた愛知県で、大きな注目を浴び他校から戸惑いの声さえ出たといわれています。その一代目の制服のコンセプトを引き継いだ新制服は、服地や色合い、シルエットやネクタイ・リボンなど部分的変更を加えた落ち着いたデザインとなっています。これは、3年前の新校舎竣工からめざしている新生東邦を象徴するかたちのひとつでもあり、東邦生には誇り高く着こなしてほしい制服です。

教育理念の実践 高校では、昨年度を、新たな教育実践を始動させた教育改革元年と位置づけています。改革の背景には、変化の激しい今の時代や社会状況の中で、多くの人たちに信頼され評価されるような学校教育を創出しなければならないという必要性がありました。それはまた、東邦の創設者である下出民義先生が掲げた「社会に信頼される人の育成」という教育理念に合致し、過去のさまざまな困難な時代にも脈々と受け継がれてきた私学東邦の精神でもあります。

教育改革の柱は、生徒それぞれの可能性を引き出すために、高校生として健全な生活習慣を身につけ、進路目標に向けて粘り強い学習姿勢を確立し、確かな学力を定着させることです。そして、本校の伝統とするクラブ活動や生徒会活動など生徒たちの自治意識を育

む自主活動に対しては、その意識のさらなる向上という観点も大切にしています。「文武の兼備」とは、昨年の学校案内の1ページに示された言葉ですが、この改革は、まさに知育・徳育・体育の均衡ある全人教育をめざすものです。

以下に、現在実践されているいくつかの取り組みについて紹介をします。

朝の読書 目にみえる大きな変化の一つは、朝の校内風景です。それは、毎朝8時40分から始まる「読書実践」という全校的な朝の読書によるもので、1,670人程の生徒が教室にいるとは思えないような静寂な時間が流れます。読書時間は、わずか10分であっても生徒たちの姿勢やとらえ方は前向きです。これは、年間を通してみた生徒アンケートからも明らかです。特に最終学年になって取り組んだ3年生は、7割程の生徒たちが読書に積極的に取り組んだと回答しています。また、この朝の読書によって、中学時代よりも読書することが多くなったと答える生徒たちもいて、改めて読書のもつ魅力を感じずにはおれません。読書は、私たちに科学や歴史など体系的な知識を与えてくれるだけでなく、文学など芸術的な作品を通して、多様な人間の感性に触れることも可能にしてくれます。このような読書が、人生に目覚めていく青年期の生徒たちの豊かな精神形成にむすびついてくれることを願うばかりです。

進路学習 学習活動にかかわって、3つお話しします。

1つは、1年生から2年生の「総合的な学習の時間」の中にある系統的な進路学習です。これは、自らの生き方や進路目標についてしっかりと考えることがねらいとされており、様々な学習メニューが用意されています。中でも、職業人として社会で



新しい制服に身をつつむ新入生



毎朝行われる朝の読書



制度を形がい化させないために、教員・生徒双方が、考查に向けて緊張感を失わず、日々の学習を大切にした結果で

働く様々な人たちを講師に迎える「プロフェッショナルに聞く」という講座は、生徒たちにたいへん好評です。講師の方々が話す仕事のやりがいや苦労など多彩な話題には、生徒にとって人生を考えるための貴重な情報が豊富につまっています。そして、高校卒業後の進路計画をしっかりと考えられるよう、上級学校の模擬授業や学問研究に続く構成がなされています。この上級学校の学問研究では、今年度初めて、高大連携の観点から、学年規模で同じ学園系列の愛知東邦大学のキャンパスに足を運び、特別に準備される様々な講座を体験する予定です。このような企画が、生徒たちの学びへのまなざしを、少しでも広げていけるよう期待されるところです。

再試験制度 学習活動の2つ目は、「再試験」制度の導入です。この制度は、定期考查の成績が一定水準に満たない場合、考查後に再試験に臨むもので、学期毎の学習の積み残しをしないために考えられました。この



プロフェッショナルに聞く

再試験制度は、各学年において欠点率を大きく減少させ、全体に改善された成績を収めることにつながりました。この改善には、

あることを忘れてはなりません。

ブリッジ学習 学習活動の3つ目として、「ブリッジ学習」に触れておきます。これは、中学と高校双方の学習をつなぐ、まさに“橋渡し”を意識した今年度からの学習プログラムです。国語・数学・英語の三教科について実施しましたが、教科によっては、複数の先生たちが教室に入ってマンツーマンの指導態勢で臨み、大変活気に満ちた学習活動が展開されました。中には、指定教科以外の教科学習にも自主的に参加する生徒がいたようで、「学び、知ることは喜びにつながる」という学習の意義を、改めて考えさせられる貴重な取り組みでした。

7割がクラブ活動参加 最後に、クラブ活動は、参加率が1・2年で7割を超え、今年も県大会や東海大会への出場を決めたクラブも複数あって、春から元気です。自分の興味・関心を共有できる仲間たちとひとつの目標に向け、技術と心を磨き合える自主活動は、教室の勉強では得られない体験を可能にし、人間的成長を育んでくれる貴重なものです。昨年度から、クラブ活動時間の延長と下校時間の厳守によって、メリハリのある活動となるよう、キャプテン会議や顧問会議を通じて周知しています。

2年目に入る教育改革は、生徒一人ひとりに、高校生としての自覚と自らの問題意識を大切にさせ、何事にも全力を注ぐことのできる自立した人となれるよう、その実践の一つひとつを大切にしています。

高校の行事

1年生学級合宿(反達ができました)

1年学年主任 中林 幹雄

1年生の学級合宿は、A～Cと、G～Jが恵那峡グランドホテルへ、D～Fと、K～Nが湯ノ山グリーンホテルへ、前団4月21日(水)22日(木)、後団22日(木)23日(金)の1泊2日の日程で行ってきました。

初日の校長講話では東邦高校の歴史や高校生活について学んで、その後、班ごとのバーベキューで昼食を取り、クラスごとのレクリエーションで大いに楽しみました。ホテルに帰ってからは、学習やホームルームでクラス目標を決めたり、お互いの親交を深めたりしました。翌日は、まとめの感想文・決意文や中学校の恩師へはがきを書きました。この2日間でクラスの仲間とも仲良くなれ、目標も定まり、東邦高校での高校生活の決意を新たにしました。



校長講話を真剣に聞きました。

大雨の遠足

3年学年主任 加藤 元雄

4月22日(木)、大雨の中を、クラス毎に選択した、京都・宇治・長浜の3カ所に分かれて、高校生活最後の遠足に行きました。昨年11月に行った中国修学旅行では、半世紀に一度の季節外れの大雪に見舞われ、雨の学級合宿以来、3年間にわたって天候には恵まれない校外学習でした。その上、この日の京都は「公休日」で、多くの店が閉まっていました。しかし、どんな環境でも「楽しみ」や「発見」を作り出すのがこの

学年の特徴で、この遠足でもそれぞれに満足したようでした。



1年生開校記念行事

1年学年主任 中林 幹雄

1年生は、中間考査最終日の5月20日(木)の3限に、体育館で開校記念行事を行いました。榊校長が、体育館の南壁にプロジェクターを用いて、東邦学園の歩みがわかる写真を大きく写しだし、解説していただきました。校訓「真面目」の意味するもの、「真に信頼して仕事を任せうる人格の育成」、平和への誓いを新たに「平和の碑」、東邦の歴史の局面がヴィジュアルによく分かる展開でした。1年生諸君も最後まで集中して聞いていました。

高校卒業式

未来への夢をめざして

東邦高等学校の第61回卒業証書授与式が、2月27日(土)に本校体育館にて挙行されました。当日は天候も良く、穏やかで卒業式にふさわしい日和でした。

式典は、体育館に在校生・教職員・卒業生の父母約500人が待つ中、卒業生489人がその表情に緊張感を漂わせながら担任を先頭に整然と入場しました。式は、式次第にのっとり、全員による校歌斉唱より始まり、厳かな雰囲気の中ですみました。卒業証書の授与は、クラスの代表者が役割を果たし、それを見守るクラスメイトは緊張の中に晴れやかな表情で自らの代表を見守っており、各々の高校生活での思い出を胸に、新しい生活に対しての期待が感じられました。

在校生代表の生徒会長山田ももこさんの心温まる送辞が、卒業生たちの高校での思いをさらに深くさせました。卒業生代表の小林彩さんの答辞は、今年度で幕を下ろす国際・理数コースの一員として自らが所属した国際コースに対しての思いを熱く語り、今までの国際コースの成果を学校全体で受け止め、継承していきようにとの願いが込められていました。そして退場時は、卒業生全員が父母席から在校生の前を通り、参列者から温かい拍手を浴びて退場しました。

式後は、各教室で最後のホームルーム。が各担任による饒^{はなむけ}の言葉を受けて、クラスメイトとともに名残を惜しみました。その後、中庭において、恒例となっている部活動の生徒や在校生による卒業生の追い出しが華やかに行われ、後輩などに見送られて、3年間の思いを噛みしめながら校門を離れていきました。



高校卒業記念品 集会用テントほか

平成21年度の高校卒業生から卒業記念品として、集会用テントと大型ホワイトボード3台が贈呈されました。

集会用テントは地域イベントや文化祭に使用されます。

高校入学式

新たな制服に夢を膨らませて

平成22年度の東邦高等学校入学式は4月6日(火)に新入生430人を迎えて、本校の体育館で行われました。前日までの悪天候で式が心配されましたが、当日は春の日差しがまぶしいほどで、その中で今を盛りと桜の花の満開の中、今年度より採用された新規格の制服に



身を包んだ新入生が誇らしげな表情で校門をくぐりました。

吹奏楽部が後輩の入学を祝って奏でる中、式典が始まりました。入学生は父母と隣り合わせて着席し、互いの表情はまさにその日の天候のように晴々としていました。榊直樹校長は、「私学は学校によって人材育成に特有の目的を持っている」こと、本校は創立者の下出民義先生が掲げた「真に信頼されて仕事を任せられる人、社会に役立つ真面目な実業人を育てよう」という理念を掲げて「真面目」が校訓であることとその目的に立つ本校の歴史に触れ、私立学校である本校の存在意義を分かりやすく、その式辞の中で語られました。

これに対して新入生代表の木村海南波さん(春木中学出身)が「誓いの言葉」を述べ、新入生一同、心を新たにしていました。

式後、各教室で担任からクラス方針や高校生活における心構えなどについて話があり、新たな夢と希望を持つことができました。さらに校舎入口付近において、生徒会主催の新入生歓迎のイベントが催され、父母ともども本校に入学したことを実感する時を持つことができました。





人間学部子ども発達学科

1・2年生合同オリエンテーション

人間学部専任講師 成松 美枝



人間学部子ども発達学科では、4月2日、1・2年生合同オリエンテーションを愛知国際児童

童年記念館と愛知県児童総合センターで行いました。会場での実施は今年で3度目となりましたが、新1年生に対して大学生活に関する情報を提供するのと同時に、新2年生にも保育者を志す学生としてさらなる自覚と学習意欲を促すことを目的としています。

今年度も、新2年生の実行委員8人が春休み前から新1年生を歓迎するプログラムを企画し、名札やしおりづくり等の準備をしてきました。

会場到着後、学生たちは教育課程の履修説明や学生生活に関するガイダンスを受けましたが、その後の1・2年生交流会では実行委員の企画したゲームやダンスの取り組みを通して、学生・教員間で楽しい親睦の時間を持つことができました。

昼食後はグループに分かれて児童総合センターを見学しましたが、大人も子どもも楽しめるような創造性あふれる沢山の遊びを体験することができました。見学後のまとめでは、センター顧問の田嶋先生に対して学生からの質疑応答がなされましたが、「遊びに夢中になる子どもたちの姿に新たな感動を覚えた」といった感想も多く聞かれ、学生たちにとって有意義なオリエンテーションとなりました。

経営学部地域ビジネス学科

新入生歓迎行事

経営学部准教授 中山 孝男

4月1日、新入生を歓迎する催しが、入学式直後に本学食堂にて盛大に行われました。この種の歓迎会は、経営学部設立以来初めてのことで、後援会の説明を

聞き終わった保証人の方々も途中から合流・参加され、さっそく1年基礎演習担当の教員と挨拶を交わす光景も見られました。



餅つきに力をふるう学生たち

また、翌2日の昼時には、新入生歓迎のもう一つの新企画、餅つき大会も行われました。午前中に学内ツアーで本学の主な施設を順にまわりながら簡単な説明を受け、英語のプレースメント・テストに挑んだ後、スチューデント・ホール1階ロビーにて本学教職員と新入生の代表が餅をつきました。餡をつけたり、きな粉をまぶしてふるまわれましたが、つきたての餅だけにたいへんおいしく、2度も3度もおかわりをする学生(と教職員)があらわれたほどで、大好評でした。

意欲が見られる「自主実習」

学修支援課 森 美利花

保育所・施設・幼稚園…全ての実習を終えた子ども発達学科4年生。“これだけの実習では、まだまだ勉強が足りない”と、興味を持った保育所・施設・幼稚園へ自分で直接連絡をし、実習(自主実習)をお願いしています。先生方も実習前に指導をしてくださり、学生たちは緊張しながらも意欲的に活動しています。

自主実習は2月から始まっています。1日だけお願いしたり、週1日1年間継続的にお願いしたりと、学生や実習先によって期間は様々です。しかし、たとえ1日でも「楽しかった」だけで終わらせることはなく、実際の保育を肌で感じ、貴重な経験をしているようで、自主実習を1回で終わらせる学生はいません。いよいよ始まる就職試験を前に、やった方がいいと思ったことはやってみようと、一所懸命努力しています。いろいろな実習を経験することで、たくさんのことを吸収してくれることと思います。

来春、愛知東邦大学からの初めての保育者となる学生たち。お世話になった方々への感謝の気持ちを忘れず、子どもたちや保護者の方々から信頼される保育者を目指し、頑張りたいと思います。

中学校・高校教諭をめざす 学生の「教育実習」

経営学部地域ビジネス学科(高校・商業) 1名

人間学部人間健康学科(中高・保健体育) 35名

本年度は36人の学生が実習を受けます。

このうち人間学部の35名は第1期の学生で、本校からの初めての保体教育実習です。

一部の学生の実習は始まっており、7月2日までの間に各人3週間ずつの実習となります。

今年は春にも就職支援相談会を開催



6月2日(水)にミッドランドスクエアで就職支援相談会を実施しました。当日は100人の学生が参加し、16社の採用担当者

の方に話を伺いました。事前研究をして臨んだ学生は、いつも以上に真剣に、そして意欲的に取り組んでいます。

愛知県私立幼稚園連盟 教員採用説明会開催

6月2日(水)大学B002教室において、社団法人愛知県私立幼稚園連盟の教員採用説明会が行われました。幼稚園の1日の様子や体験に基づいたお話を聞きました。学生たちからはいろいろな質問がなされ、私立幼稚園の様子や保育者に対する意識を高める時間を持つことができました。



大学卒業式

晴れやかに大学卒業式



平成21年度愛知東邦大学卒業証書授与式が3月17日(水)名古屋国際ホテルで行われ、大学経営学部の140人が卒業しました。

大学卒業記念品 ベンチとテーブル

平成21年度卒業生より卒業記念品「ベンチ2台、ダイニングテーブル2台、スタッキングチェア8脚」が大学へ贈呈されました。S棟ロビーとA棟へ設置され、学生たちの休憩スペースになっています。

大学入学式

自分を成長させる4年間に!



4月1日(木)、新入生277人と保証人を迎え愛知東邦大学第10回目の入学式が行われました。

小雨の降る中、

正門で「おはようございます」と声をかけると、スーツを着た新入生が照れ気味に返事をしてくれました。

式典は東邦高校吹奏楽部と大学吹奏楽団の混合メンバーによる式典序曲演奏で始まりました。

榊直樹理事長は「他人を幸せにすることを考えてほしい」と学園の歴史を踏まえながら、学ぶことの大切さを呼びかけました。

在校生の挨拶として、上村吉史さん(人間学部人間健康学科)が、「自分を変えるのは自分だ」と先輩らしい言葉を送り、新入生代表大塚貴明さんは「与えられるだけではない行動を自ら考えたい」と答えました。

一人ひとりが成長して4年後どう変わるのか、期待の持てる入学式となりました。

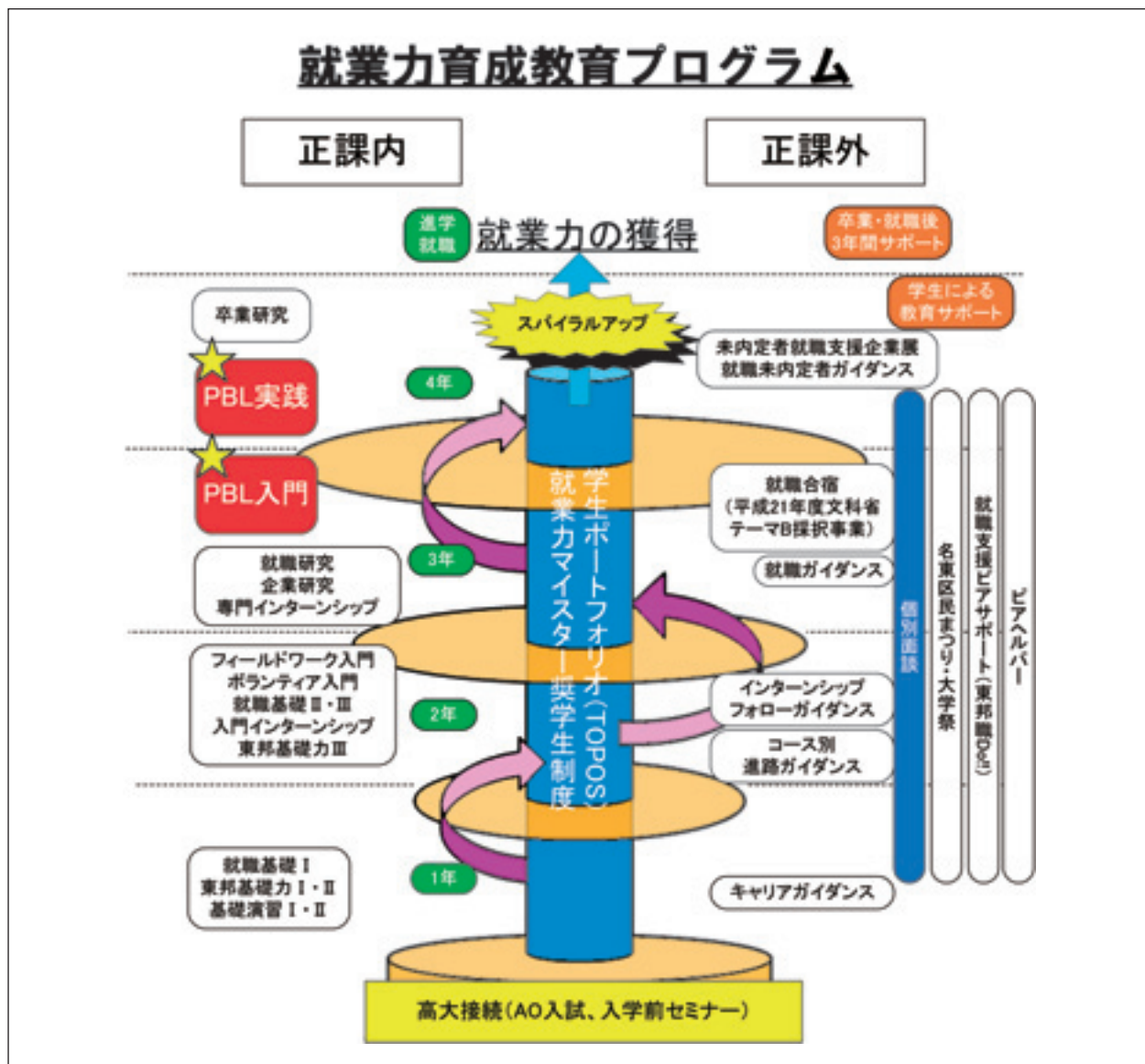
5月末、文科省「大学生の就業力育成支援事業」に応募！

キャリア支援委員長 深谷 和広

5月末、山極学長のリーダーシップのもと、ワーキンググループの教員と職員の皆さんの献身的協力のおかげで、大学として文部科学省「大学生の就業力育成支援事業」に無事応募することができました。本事業は、単なる就職支援に留まらず、大学における教育の全学的体系的な「教育改革」の取組みを支援するという趣旨のものです。7月、この応募の結果が公表される見込みです。愛知東邦大学のこの取組みが認められ、本学における「教育改革」が促進されると共に、キャリア支援にも資することが期待されます。この取組みについて簡単に紹介します。

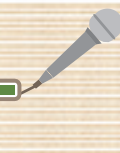
本学では新たに「就業力育成」の取組として「入学前から卒業後まで生涯にわたるキャリア形成」と「正課内外の教育を通じたキャリア支援」とを総合し、自立した職業人の育成を目指す教育プログラム改革をおこないます。この教育改革を通じて「就業力」を育成します。このため3つのポイントを掲げています。

- ①実学的専門教育として「地域連携 Project Based Learning(PBL)」の手法を多くの専門科目に取り入れます。
- ②入学から卒業までを支援する「学生ポートフォリオ」システムを導入して学生自らがPDCA(計画・実行・評価・改善)サイクルに沿った学修ができるようにします。このため東邦学修情報ポータルサイト(TOPOS)を有効活用します。
- ③学生の積極的な参加を奨励するために「就業力マイスター奨学生制度」を新設します。





愛知東邦大学 卒業生インタビュー



片岩 健さん

愛知県警察
経営学部地域ビジネス学科
2010年3月卒業

子どもの頃から白バイや制服が格好良くて、正義の味方である警察官に憧れていました。大学でその憧れが“挑戦”に変わっていきました。就職活動が始めるまでは、「こんな自分が内定をもらえるか不安」でしたが、先生が卒業した先輩に連絡をとって業界の動向や就職情報を探ってくれたりして、僕と真剣に向き合い導いてくれました。

面接では「警察官になりたい」思いや誠意を伝えるよう心がけ、面接官の目をみて姿勢を正しくしてのぞみました。ずっと続けてきた野球で身につけた人間性も評価していただくことができたと思います。これから社会の役に立つ、立派な警察官になります。



橋本 徹さん

トヨタファイナンス株式会社
中国・四国支社勤務
経営学部地域ビジネス学科
2007年3月卒業

学生時代はサッカー部に在籍し、「東海学生サッカー選手権」で東海ベスト16の成績を残し、充実した活動ができました。

就活中、先生は自分の長所を認めて伸ばしてくれ、背中を押してくださいました。

就職してからは業務の中で、債権回収にあたり弁護士の方と交渉することもあります。法律に関する専門知識の習得が大変ですが、頑張っています。



金田 有司さん

瀬戸信用金庫 融資係勤務
経営学部地域ビジネス学科
2007年3月卒業

大学では学祭の実行委員長をしていました。一つのことに對して皆が協力し合い、やり遂げた時の達成感はとても感動でした。この経験で培われた責任感は社会人になってからも役立っています。



日比野 早希子さん

株式会社トヨタレンタリース愛知
関連商品部通信事業室勤務
経営学部地域ビジネス学科
2005年3月卒業

1期生として女子バスケットボール部を立ち上げたことが、学生時代の一番の思い出です。何もないところから一つの目標に向かい、試行錯誤しながら仲間と協力して作り上げました。スタートさせることはとても大変でしたが、仲間の大切さを改めて感じる事ができました。就活中に先生からも「バスケ部を作り上げたことを誇りに思え」と言っていただき、このことが大きな自信につながりました。





東邦高等学校 卒業生インタビュー

1996年度 普通科コース卒業

東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻生命環境科学系

助教 森長 真一さん

profile

卒業後、1年浪人を経て富山大学に入学、4年後に卒業。2007年春、東北大学大学院生命科学研究科を修了して、博士号を取得。その後、九州大学でポストドクターという研究員を経て、現在に至る。

—東大ではどんな研究をしていますか？

植物の進化の研究をしています。野性の植物がその環境にどのように適応し、生きているか、たとえば、高山や極寒地等世界各地に25万



種あるともいわれる植物がなぜそこで生きていられるのか。高山なら、雪に適応していたりなど、そういう遺伝子を持っているのではないかという考えから、どうしてその場所に居られるのかという研究をしています。

—昔から植物が好きだったのですか？

そうですね。気づいたら好きになっていたという感じです。あとは、高校1年生のときの梅田先生の生物の授業がとても楽しくて、そこから生物学を志したというのも大きいです。特に生物部等に入っていたわけではなく、実は理科も基本的には苦手だったのですが、梅田先生の授業は今でもとても印象に残っています。

—東邦高校での思い出を教えてください。

水谷先生という恩師に会うことが出来たのはすごく大きいです。水谷先生は、色々な場合でトラブルを起こしていた僕を怒鳴りつけたことが1度もありませんでした。そのつど、「こうすればもっと上手く解決できたのではないかな」などのアドバイスをくれました。水谷先生には大学に受かったり、大学院進学が決まったりした等の節目節目に連絡を入れていて、東大に就職が決まったときにも会いに行きました。

また東邦で、自分のアイデンティティやオリジナリティを見つけることができましたね。研究者にとってオリジナリティが重要で、人とは違う発想や違うことをするということが必要なんです。それを東邦での生活で見つけることができました。

—今後の目標や夢はありますか？

研究者として誰も思い付かなかった夢のある研究をしたいです。人生としては、高校の恩師だけでなく、いままでお世話になってきた人たちに恩返しをしたいと思っています。

2005年度 美術科コース卒業

スタジオジブリ勤務 小倉 安見さん

—スタジオジブリではどんな仕事を？

劇場版の作画制作をしています。中学時代には親の影響もあって、早い段階からアニメーションに興味をもっていました。その道に就職できればと思っていたんですが、ジブリは自分にとってすごく大きい存在だったので、絶対いけないと思っていたんです。ところが大学



3年のとき、ジブリが年齢層が上がってきた本社に若い力を入れたいという希望で、20人程若者を集めて人材育成するという募集がありました。度胸試しに軽い気持ちで受けてみたら、有り難いことに受かったのが今の仕事に就いたきっかけでした。

—東邦高校に進学を決めたきっかけを教えてください。

美術科のある高校を探していて、中学時代の先生から紹介されました。体験入学にきたのですが、楽しかった記憶があります。専攻にわかれ、好きなものを体験してみようということで、私は油絵を選びました。

入学してからは、背景みたいな繊細な画に惹かれて、最終的に日本画を選びました。

—東邦高校での思い出を教えてください。

学校では人間関係を学びました。クラスで出会った友人たちは皆魅力的で、「自分はこれができるけど、あなたはこれができるね」などと、互いの違いを認め合えて、いいところを尊重し合う環境でした。

特に思い出に残っているのは文化祭です。自分がいた当時、美術科の3年生はミュージカルをするのが定例になっていました。私たちのときも1年生のころから「3年生になったら絶対やろう」と話していて、いざ3年になった時「キャッツ」をロミオとジュリエット風にアレンジしたミュージカルを公演しました。みんなでひとつのものをつくりあげる楽しさと大変さを学びました。

—今後の目標や夢はありますか？

今よりもっと仕事がこなせるようになりたいです。動画や作画の仕事はスピードが大事なんです。自分の腕だけで生きていけるくらいデキるアニメーターになりたいです。アニメーションの世界は枠が狭いわりには厳しくて、新人が中々育たない現状があります。だからこそ、こうして養成してもらえた自分達が力を付けていきたいと感じています。

別 辞



退職にあたって

安保 邦彦(元大学教授)

2001年4月、東邦学園大学開学以来、経営学部で9年間の勤めを終えることができました。これも教職員みなさんの温かいご協力があればこそと改めてお世話になった方々に誌上をお借りしてお礼を述べさせていただきます。ここ数年は、人間学部の開設、短期大学の廃止、大学名の変更、C棟建設など変化の多い日々でした。経営学部では、開学当初と比べ教員は、40%程度入れ代わっています。

これまで過ぎた時代が愛知東邦大学の第一次世代とすれば、これからは変革期を終え第二次世代に入ったと言えるでしょう。しかしこの世代は“少子化”という難題を抱えた時代を乗り切らねばなりません。皆様方のご健闘を祈っております。



教員生活を振り返って

市丸 民治(元高校教頭)

昭和49年から4年の非常勤講師を含め、37年間勤務し、多くの部活動と接することが出来ました。その中でも自分の専門とする陸上競技の顧問を長年してきました。

東邦高校で陸上競技を指導してきて感じたことは、平和公園・東山公園という基礎体力を養うには素晴らしい環境に恵まれたということです。さらに、スピード力をつけるためにはトラックが必要であったため、名大・瑞穂・鶴舞のグラウンドにも出向き練習しました。その甲斐あって非常勤講師・専任教員時代で、それぞれ2回の全国総合体育大会への出場を果たすことができました。しかし、6位入賞を果たすことが出来なかったのが少し心残りです。今思えば、部活動中心の教員生活であったように感じます。

最後に、皆様のご健康と東邦学園のますますの発展を心よりお祈り申し上げます。

ごあいさつ

萩原 永(元高校教諭)

学園に奉職し33年の年日を重ねました。尊敬すべき諸先輩の定年退職に畏敬を感じておりましたが、いつの間にか私自身もその年を迎え、何か不思議な気がしております。

気まぐれで、飽きっぽい私が、最後まで勤め上げられるかは、当の本人が最も心配しておりました。今、これまでの人生の半分以上を過ごし、第二の母校とも言べき学校と遭遇できましたことも、諸先輩、同僚諸氏の支えがあつてのことと改めて感謝申し上げます。

東邦高校は、私の人生の中で特別の存在となりました。これまでも、これからも誇れる母校であり続けていただきたいと強く希望します。しかし、昨今の本校への評価は必ずしも満足のいくものではなく、心を痛めております。私は一線を引退させていただきますが、なおしばらくは、学園と高校の発展のために微力ながら尽力させていただく所存です。



17年間の思い出とともに

美術科 松下 明生(元高校教諭)

東邦高校での17年が過ぎ、18回目の春を迎えようとしています。17年前の3月は、私はまだニューヨークの総合商社に勤務していましたが、名古屋の東邦高校に美術科が発足するということで、ニューヨークで会社を退職し東邦に赴任しました。海外からの引っ越し準備が大変なのと、まだ見ぬ東邦高校での生活に不安と夢でいっぱいだったことを、今、思い出しております。29歳で赴任して17年という歳月はあっという間に過ぎ、もうすぐ50歳という山が見えての転職は、自分ながら冒険であることを感じております。

東邦で出会った生徒や職員の皆様との思い出は自分の財産としてこれからの人生のエネルギーになるものであると信じております。美術科の卒業生も、それぞれのスペシャリストの分野で活躍し始めていて、今や多くの卒業生たちに励まされている状況であります。

本当に皆様にはいろいろお世話になり誠にありがとうございました。これからも東邦高校の益々のご発展を祈念いたしております。

新入教職員紹介

一言アンケート

- ①本学園就職の動機について
- ②趣味または私的に打ち込んでおられること
- ③今後の抱負について



御園 慎一郎

所 属：人間学部人間健康学科教授
出身地：長野県

- ①皆さんこんにちは。御園です。4月から3回目の愛知県民になりました。どうぞよろしく。転勤族で、東京、福岡、福井、愛知、茨城と行ったり来たりしましたが、大好きな愛知に戻ってこれてハッピーです。地域の活性化をテーマにしています。地域のために何が必要なのかを、若い皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。
- ②趣味はサッカーと蕎麦打ち。それと温泉。サッカーはまだ現役。今年はヘッディングで1ゴール。ワールドカップが待ち遠しい。蕎麦は霧下蕎麦の本格手打ち。打ちたて、茹でたて『御園庵』。一度ご賞味あれ。最後に、秘湯めぐりの仲間募集中。クマさんやお猿さんと一緒にお湯に入りたい人大歓迎。



岩澤 大介

所 属：高校数学科
出身地：岩倉市

- ①小さい時から教員になるのが夢でした。東邦高校の生徒は、とても明るく元気で、自ら挨拶のできる生徒ばかりです。そんな東邦高校で、教員という夢を実現したいと思ったのが動機です。
- ②ボウリングです。大学生活のちょっとした空き

時間を利用し、友人とよくラウンドワンにボウリングをしに行きました。今でも暇があれば、ボウリングをしに行っています。

- ③つい最近、大学を卒業したばかりで、生徒とはまだ年が近く、教員らしくみえないかもしれませんが、誰もが数学を楽しみと思える授業を目指して頑張っていきます。



中橋 杏奈

所 属：高校社会科
出身地：愛知県西尾市

- ①東邦高校は、明るくて活発な生徒さんが多く、その中で自分自身も成長していけるのではないかと思います。
- ②劇団四季ミュージカルが大好き！あと、ドライブも好き！カラオケも好き！
- ③私が教師を目指したのは、自分が高校生のときに出会った先生に「きっかけ」をもらって180度高校生活が変わったことにあります。
今度は私が、その先生にもらったように授業やクラブなどいろんな場所で「きっかけ」を与えられる、そんな人間になれたらいいなと思っています。



甲斐田 匡彦

所 属：高校社会科
出身地：名古屋市

- ①高校時代の恩師に影響を受け、高校教諭を目指しました。東邦高校は私の母校であり、本校に恩返しをしたいと思い就職しました。
- ②体を動かすことが好きです。幼いころから空手をしており、現在は生徒を指導しながら自分も選手として続けています。
- ③講師として3年間お世話になり、今年度から新人の専任教諭としてお世話になります。

多くのことを先輩方から吸収しながら、生徒の輝かしい未来のために、生徒と共に日々成長していきたいと思っています。



尾崎 健二

所 属：高校国語科

出身地：神戸市

- ①専門は「言語習得・教育」です。この8年の授業創りの要素は「理に適う手法での型の修得」「学習の主体は学習者、授業の主体は教師」「学校受験、企業就職対応」です。多様な年代や学習段階の学習者と関わってきています。商業科・普通科・美術科と幅広く在る東邦生にも体感、体得しやすいと考えています。
- ②識らないことや言語、人物に触れて、「当たり前のこと」や「慮り合うことの肝要さ」を再確認し、心頭体を鍛練しています。
- ③諸先輩方の叱咤激励を拝受し、自らも「悲観的に準備、楽観的に対処」をモットーに、あらゆることの練度や機動力を増強していきます。何卒、宜しくお願い致します。



加藤 広士

所 属：高校美術科

出身地：愛知県

- ①東邦高校は母校であり、先生方はじめ仲間達と共にその後の指針を考え、大切な時間を過ごせた場所でした。同じく岐路に立つ皆さんのためになること、これを基準に考え尽力します。
- ②見ること、考えること、つくることです。絵だけは昔から続いています。
- ③一方的な言葉だけではなく、たくさん対話し、共に考え、悩み、喜べるような、成長し合える関係を築くことです。より多くの関係から生まれるライブ感を大切にしたいです。



西 弘美

所 属：法人企画課

大学企画課

出身地：桑名市

- ①東邦学園の職員の方々の仕事に対する前向きな姿勢に、ぜひ一緒に働きたいと考えました。
- ②ガーデニングが趣味です。休日は草花に癒されています。庭仕事をしていると、つい時間を忘れてしまい、あっという間に一日が過ぎていきます。家庭菜園にも目覚め、収穫したばかりの野菜を使って、創作料理を楽しんでいます。下手な料理も、新鮮な野菜に助けられ、美味しく感じます。
- ③建学の精神である「真に信頼して仕事を任せよう人格の育成」を心に留め、東邦ファミリーの一員として、今までの経験を生かして、学園発展のために頑張りたいと思います。



長島 賢

所 属：大学就職課

出身地：名古屋市

- ①職員の方が若く明るく積極的に仕事に取り組まれておられるのが魅力で、自分もぜひその一員として役割を果たしたいと考えました。
- ②こう見えてもアウトドア派です。若い頃は、当時の文部省のパイロット事業として小学校5年生から高校生の50名を10年間2週間の無人島生活体験に連れ出したりしていました。現在は溪流釣りにこっています。
リタイアしたら自分のログハウスを作るのが夢で土地を手に入れたりしてきたのですが、息子3人にすねをかじられ、計画通りにはなかなかいきません。
- ③皆さんに教えていただきながら早く東邦グリーンに染まり、学生支援に全力を尽くします。

キャンパス短信

大学・高校

名東の日「区民まつり」開催

5月9日(日)愛知東邦大学と東邦高等学校を会場に、平和の丘“春の祭典”が開催されました。

「人と街と学園の輪が広がる！」お祭りを成功させるため、東邦学園の高校生・大学生・教職員にも協力していただきました。

高校会場ではメインステージで東邦高校ダンス部や吹奏楽部の演奏が流れ、作法室ではお茶会、校庭ではサッカー教室やソフトボール教室が開かれました。

大学会場では「フォームローラー&パートナーストレッチ」「クロリティー大会」で身体を動かしたり、絵本の読み聞かせや折り紙など、大人も子どもも楽しんでいました。

今回は大学にもステージが作られ、若葉の中でバリダンスや沖縄島唄三線などめずらしい音楽も披露されました。晴天にも恵まれ、大勢の人に東邦学園を知っていただく機会となりました。



法人

記念講演「夢があるから強くなる」

日本のサッカーを育てた川淵三郎氏(サッカーJリーグ初代チェアマン、現在キャプテン)がワールドカップの直前、名古屋国際ホテルで講演されました。「フレンズ・TOHO」定期総会が6月10日に開催され、この記念講演として川淵氏が招かれたものです。

「フレンズ・TOHO」会員、御園慎一郎氏(東邦学園理事・愛知東邦大学教授)の講師紹介により講演が始

まりました。御園氏は2002年FIFAワールドカップ日本組織委員会で共に活躍された旧知で、川淵氏をよくご存知の方です。

サッカーファンにとっては、4日後(6月14日)に控えたカメルーンとの初戦が気になるところでした。川淵氏の講演で勝敗の予想も聞かれるかもしれないとの思いもあり、多くの聴衆が聞き入りました。

今では、サッカー人気は野球人気を凌ぐ程。30年前、日本は「サッカー弱小国」。観客どころか、サッカーグラウンドもない状態でした。Jリーグを誕生させ、ワールドカップに出場できるまで日本のサッカーを育てた立役者の一人が川淵氏です。「51歳の左遷」からサッカーへの一層の傾倒が始まり「苦難が始まった」と話されました。日本がワールドカップ開催地に立候補した頃、Jリーグを立ち上げる時のエピソード、どれを取ってもサッカーファンには興味ある話。

しばしば笑いが起きる中、「フレンズ・TOHO」会員と一般応募で参加された方、160人を超える聴衆の皆さんは、「人生、夢を持つことの大切さ」と「挫折から学ぶ」ことの重要性を学んだ講演となりました。



法人

「21TOHO教育充実事業募金」 ～ご協力をお願いしております～

21TOHO教育充実事業募金事務局

学園では教育環境整備、施設設備の充実、教育研究活動の奨励に取り組むため、21TOHO教育充実募金活動を展開しております。これまでに多くの方々から多額の募金を頂戴し、高校新校舎の建築や大学新学部の増設およびグラウンド新設のための資金として運用させていただきました。

募金についての要項ならびに寄付金の免税措置につ

きましては、大学・高校の各ホームページにも掲載しております。また、それぞれの事務部窓口でも詳細を説明させていただきます。皆様方からのご支援に対しては、「人格教育」を重視する建学の精神に立った21世紀に有意な人材を育て、卒業生が実業界をはじめ各界で活躍することで恩返しさせていただきたいと考えております。今後ともご理解を賜り、ご賛同をいただきますよう衷心よりお願い申し上げます。

法人 学園に「株式会社 イープロ」が誕生

2010年2月3日、収益事業法人が設立され、3月1日から営業開始となりました。2年前から検討を重ね、開設にやっと到達。この(株)イープロは、三井住友海上火災保険代理店業務をはじめ、学園の施設設備の管理業務の代行、学園各事業と業者の間に入った仲介斡旋業務、「フレンズ・TOHO」事務業務など、今後収益をあげられるよう業務が順次拡大されていく予定です。

商号「イープロ」の由来は、「東邦」から[東=east、邦(州、国)=province]。

「イー」は良いを連想させ、「プロ」は、プロジェクト、プロデュース、プロモーションなどと繋がる可能性があることから商号とされました。

収益は、東邦学園に寄付され、教育研究活動や教育環境を充実するために役立ててもらおうというものです。事業年度は7月から翌年の6月までの1年。代表取締役は増田貴治(現 法人事務局長)、従業員(パートを含)は11人。

名古屋自由学院、愛知大学、日本福祉大学、南山学園などの学校法人でも、同様の収益事業法人が設立され活発に事業が展開されています。

大学 愛知東邦大学入試改革 新しいAO入試が始まります

2011年度入試からAO入学試験(以下、AO入試)が新しくなります。

新しいAO入試のテーマは「育成型AO入試」。出願前に受験生と教職員がじっくりと話をするガイダンスを設け、自分の進路と大学がマッチしているかを確認します。大学のことをよく理解し、モチベーションを

向上して入学するために、サポーター(教職員)も協力します。

合格後には残りの高校生活を使って大学生活の準備を行う「入学前学習プログラム」を準備しています。入学をゴールとすることなく、充実した学生生活に導く入試です。

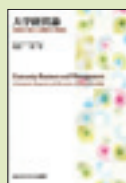
お問い合わせ先：入試広報課

T E L : 052-782-1600

E-mail : nyushi@aichi-toho.ac.jp

…… 本学関係者の書籍紹介 ……

『大学経営論 実務家の視点と経験知の理論化』



学園理事 福島一政氏が大学経営と運営を理論化した本を出版しました。

40年近く高等教育界に身を置き、大学経営とは何かを問い続けてきた著者の集大成です。

日本エディタースクール出版部(価2,000円)

『生涯スポーツとしてのニュースポーツ

クロリティーの研究』



大学教授 石川幸生氏はクロリティーの考案者です。高齢化社会の到来とともに、人々の健康・スポーツに対する関心は高まっています。この書籍はニュースポーツの登場から「クロリティー」の効果に関する検証までがまとめられています。(価2,200円+税)

『戦時下の中部産業と東邦商業学校

下出義雄の役割』



2010年3月31日、唯学書房から本学地域創造研究所編「地域創造研究叢書13」として、標記の本が発刊されました。資料がとばしい第2次大戦期の愛知産業界の基盤形成と政治的状况を、「東邦学園下出文庫」などの資料によって検証した労作です。(価2,200円+税)



国際交流



大学 ニュージーランド語学研修引率記



—Aichi Toho University English Language Short-Course at Lincoln University, N.Z.—

大学 経営学部教授 今尾 雅博

2010年2月27日から3月16日まで、本大学主催のニュージーランド語学研修旅行に行ってきました。研修先はNZ南島最大の都市クライストチャーチ郊外のリンカーン大学。リンカーン大はNZに7つある国立大学のひとつで、ポプラ並木に囲まれた素晴らしいキャンパスでした。今回の参加者は11人(女性4人、男性7人)。2年の男子学生1人を除き皆1年生で、語学研修は全員が初級コースを受講。皆出席にて修了証を手に入れました。

引率教員である筆者を含め全員がNZは初めてでし

たが、クライストチャーチは英国のオクスフォードに似ており、学生たちは週末によく街へ出かけて当地の自然と人々の優しさを堪能していました。ホームステイ先の家族とも親しくなり、最後に一人ずつマイクロバスにピックアップしていく際には、涙を流して別れを惜しむ姿を何度か目にしました。天候にも恵まれ、帰途立ち寄ったシンガポールの観光も含め、多くの成果が得られた旅であったと思います。帰国後の報告会では全員が研修旅行に満足の様子で、いつかまた再訪したいとの発言が相次ぎました。



リンカーン大学 図書館

国際南極センターにて



語学研修センター中庭にて

アカロア湾内クルージング桟橋





高校 国際交流室より

国際交流室長 河野 芳江

秋に飛び入りで交流を行ったオーストラリアのウェストバングラマースクールから、2人の留学生、ジュリアン君とアナさんが12月にやって来ました。クラスは1年N組。もう1人、日本の学校を経験したいと、ホームページを見て問い合わせしてきたオーストラリア育ちの川畑未来さん。2年I組に入りました。3人は日本文化にも大変興味を持ち、茶華道部で神妙にお稽古をし、1月の初釜にも出席しました。すっかり日本が、東邦が気に入った様子の3人は、「また来ます!」と言って帰国しました。

1月から3月には、1年N組の岡崎楓さんが、ジュリアンとアナさんの学校に短期留学しました。2人の家に滞在し、楽しい1学期間を過ごしてきました。授

業など大変だったと思うのですが、素晴らしい評価をいただき、「星がきれいなのに感動しました」と余裕で帰ってきました。元のクラスに復帰し、元気いっぱいの岡崎さんです。

4月3日には中国の南京外国語学校から、徐さんと楊さんが来日。ホームステイをしながら、7月3日まで2年O組で勉強します。カラオケやアニメが大好きな2人です。いろんなことに興味を持って日本の文化風習を学んで欲しいものです。

できるだけ多くの国の人々との交流を考えていますが、5月21日には、国の機関からの依頼で、中国江西省の高校生21人と交流しました。着付けを是非ということで、クラス交流、クラブ見学も入れ、思い出に残る交流会になったと思います。



江西省の旅行団と



茶華道部での3人のオーストラリア生



南京外語留学生
楊さんと徐さん



硬式野球部副部長 志水 和史

「必ず甲子園に行くぞ!」と意気込んで臨んだ昨秋の東海大会。結果は無念の1回戦敗退。言葉では表現できないほどの悔しさだった。「(甲子園に行きたいと思う)気持ちが空回りした」「あれが抜けていれば…」などと言い訳しか出てこなかった。「このままではいかん。何とか子どもたちを、甲子園に連れて行くんだ」と監督はじめ指導者、そして子どもたちは一丸となり、猛練習に入った。勝つために何が必要か。一人ひとりが何を考え、行動したらいいのか、徹底的に叩き込んだ。子どもたちも良く考え、動くようになった。

厳しい冬のトレーニングが終わり、ようやく球春到来。名古屋地区トーナメント大会を優勝。そして「勝ちに行くぞ、勝ちにこだわる」と監督から宣言され、臨んだ県大会。子どもたちもその気になり戦った結果、投打がかみ合い、連戦コールド勝ち。見事21年ぶりの優勝を勝ち取った。



春季県大会で優勝

昨秋の悔しい思いを乗り越えた者、新たにレギュラーになった者、またベンチを外れたが声聞れるまで応援した者など、監督の掲げる「チーム丸・一枚岩」が実った瞬間だった。しかしこれが頂点ではなく、2ヵ月後また愛知県を制し、全国制覇を成し遂げ、皆様のご支援に応えたい。

ダンス部顧問 伊藤 恵子



ユースフェスティバルにて (2010. 1.23)

今年最初の舞台は、2010年1月23日、毎年恒例となったユースフェスティバルでした。愛知県高校生ダンスループ(公立・私立高校ダンス部員チーム)として、アートピアホールで4作品踊りました。そのうちの1作品は、ドーム祭典でも披露した名古屋ユニット作品です。2002年のドーム祭典をきっかけとして、他校との交流を始め、名古屋部ではユニットを組むようになりました。毎年、名古屋・三河の高校生達が集まり、合同練習を実施しています。

3月21日には、中京大学文化市民会館オーロラホールで名鶴ひとみステージングダンス発表会に出演させていただきました。縁あって月に2回、レッスンをいただいています。

5月9日の名東の日には、本校交流の広場にて新しく入部した1年生も2、3年生と共に初舞台を踏みしました。最初、緊張していた1年生もエンディングになると上級生達と共に笑顔になっていました。

毎回、多くの方々に観ていただくことができ、部員一同大変嬉しく思っています。本当にありがとうございます。

ユースフェスティバルにて(2010.1.23)

これからは、6月ダンスドリル選手権東海大会、8月オールジャパンダンスフェスティバルin神戸、全国ハイスクールダンスコンペティションと大会が続きます。支えていただいている周囲の方々の気持ちにに応えられるよう、観ている人に伝わる作品を部員と共に創り上げていきたいと思っています。今後とも応援よろしくお願いいたします。



天命を待つ心境というべきか、藁をも縋ると言うべきか、はたまた空の空と言うべきか、インターハイ予選県大会は回り知れません。

今年度からOB甲斐田先生を監督として、新1年生12人を迎え活動を展開。「高校生は気持ち半分以上」、勝敗は揺れる。確実に、この新鮮な力は大きく上級生を触発し、「勢い」を形成しました。

この時期はインターハイ予選・県大会に尽きます。先輩が果たした夢、または屈託・辛酸を目の当たりにして、いよいよ巡ってきたこの初夏の大会こそ、彼ら彼女らのまさに全身全霊を傾けたものののです。結果ではない過程にこそ重みがある、比較ではない、絶対評価をすべき…、何と言おうと、絵空事。目の前の相手

にただ勝つことがすべてなのです。男子個人戦はベスト4人中3を制圧。準優勝を飾る。ところが、団体戦は3対2で惜敗。女子は個人戦をおとすものの、団体優勝で連覇達成。

まさに天命と、やはり言うべきか。いや彼、彼女らには1年あるいは2年余を賭したすべてと言うべき。

2010年2月11日(木)、金山の市民会館で約2,000人の聴衆を集め、定期演奏会が盛大に開催されました。第1部クラシックステージでは、クラシック音楽の中でもよく知られたチャイコフスキーの3大バレエのひとつ「くるみ割り人形」を取り上げ、第2部ポップスステージでは、ディズニーやアニメソングなど聞きなじみのある音楽を取り上げました。第3部ステージマーチングでは、舞台いっぱいに駆け回り、時にはコミカルな動きや演出で聴衆をおおいに沸かせ、部員たちにとっても、生涯忘れることのできない良き一日になりました。

定期演奏会を開催するにあたり、学校関係者、保護者の皆様、吹奏楽部卒業生諸君、会場関係者など、多くの方々にご尽力いただき心より感謝申し上げます。

《第55回 定期演奏会 予告》

日時：2011年1月6日(木)

場所：中京大学文化市民会館



第54回定期演奏会の様子

引き続きみなさんのご声援よろしく申し上げます。



経営学部地域ビジネス学科 金子 貴大



平成21年度サッカー部卒業生送別会の様子

大学サッカーの良い所は、高校サッカーと比べると自由な時間が多く、自分が今何をすべきかを考え行動します。同時に、責任ある行動が求められ、大人として大切な「責任感」も養える場であると私は考えます。

大学4年間でより多くのものを吸収し、クラブ活動を通し、自分をより一層磨きあげていきたいと思います。

吹奏楽団コーチ 野田 雄一

今はまだ準備段階ですが、詳細が決まり次第随時ご報告していきます。今年も愛知東邦大学吹奏楽団を応援よろしくお願いします！



ATTO2年 岡田 真依

20|



ATTO合宿勉強会

ています。

ATTOは今年で4年目になります。昨年は20人ほどの部員でしたが、2年間の活動実績が認められ、サークルから部活に昇格しました。外部から講師を招き、セミナーの開催や他大学との交流会の企画・運営、そして、トレーナーの全国大会などにも参加しました。

今年からは1年生が新たに加わり、50人という大規模な部活となりました。今年の抱負は「基礎から挑戦へ」で、手探りながらも日々進歩しています。



ゴルフのコンディショニング講習会

女子サッカー部 大学の学生が愛知県サッカー協会女子年間優秀選手に選出！

女子サッカー部監督 長谷川 望

4月の愛知県サッカー協会総会にて、平成21年度各カテゴリーの優秀選手が表彰されました。大学カテゴリーからは2名が選出され、本学から人間学部人間健康学科2年木村麻希さんが選出されました。

木村麻希さんのコメント

このような賞をいただき、うれしく思います。これもメンバー、スタッフ、大学関係者、家族や周りの多くの人達の支えがあって、サッカーを続けてこれたからだと思います。これからも感謝の気持ちをもってインカレ出場を目指し、チーム一丸となってがんばります。応援よろしくお願いします。

マウンテンバイクで日本一をめざす！

マウンテンバイク ダウンヒル全日本選手権の覇者(2008年ジュニアクラス優勝)が本学にいます。大学経営学部地域ビジネス学科2年の浅野善亮さんがその人！

7月には全日本選手権大会に臨みます。昨年までのジュニアクラスと異なり、今年はシニアエリートクラスになるので、とても大変ですが、現在練習を積んで頑張っています。



愛知東邦大学杯 少年サッカー大会

愛知東邦大学杯少年サッカー大会を開催します！

大学経営学部准教授 杉谷 正次

今年度も愛知東邦大学杯少年サッカー大会(後援:中日新聞社ほか)が、7月31日に開催されます。

今年で4年目を迎える同大会は、愛知東邦大学経営学部の学生が企画から運営まですべてを担当し、「スポーツマネジメントの実践」「地域社会貢献」を目的として実施しています。

毎年、本学日進グラウンド近郊の少年サッカーチームを招待しての大会ですが、学生達にとっても達成感を味わうことのできる貴重なものとなっています。



昨年度の大会より

パートナーシップ・インフォメーション

地域創造研究所

第5回

名東カルチャーゾーン構想シンポジウム

「生き生き活動で文化的な名東まちづくり」
～豊かで、安心、安全、安定した快適なまちづくり～

地域創造研究所運営委員 宗貞 秀紀

本学A203号教室で、3月9日(火)に標記のシンポジウムが開催されました。第5回目を迎えました。今年は、名東区内において独創的、個性的な文化的活動をされている方々に、その活動状況や日頃の苦悩や活動の抱負などについてお話ししていただきました。

本学地域創造研究所の森靖雄顧問をコーディネーターとして、4人のシンポジストから発表していただきました。最初に愛知東邦大学人間学部宗貞秀紀教授からは「文化社会とまちづくり」と題して、文化社会の変遷史と価値観について解説が行われ、「安定した統治社会と心にゆとりの持てる平和な社会が続かないと、良い文化社会は育たない」と説明されました。2人目に、NPO法人介護サービスさくら代表の村居多美子さんから、弱ってきた西山商店街活性化のために介護サービスの提供、福祉用具の展示、さらに、夜間は空いているデイサービス広場を活用して「居酒屋ほちほち横丁」を開設し、近所の人達との交流により参加者の自分探しの場となって商店街が活気付いてきたことが報告されました。3人目に、「カタリベカフェ」主宰の大橋弘宜さんから、2006年から月1回ペースで好きな本を持ち寄り、お互いが読んだ本を紹介し合って、ダベり合うことが、人とのコミュニケーションツールとなり、ダベりにより新たな気付きの発見があるユニークな活動が紹介されました。4人目に、名古屋市青少年参画フォーラムの巾賢治さんから、青少年の地域社会への参画と交流を支援しながら、「人との結びつきは支え合い」が基本である姿と自然との触れ合いにより、人間も自然の一部として生活環境が成り立っていることを確認し合うという活動報告がされました。

どの活動形態も、少子高齢社会や都市社会のドーナツ化現象社会を反映したユニークな活動でした。

一般区民、地域の活動者、団体職員、行政関係者ら



が参加され、三団体の活動状況の発言に耳を傾けながら、地域に根づく文化的活動の振興について意見交換が行われました。

東邦コミュニティカレッジ 市民向け公開講座 開催中



愛知東邦大学では、地域貢献のひとつとして、1996年より市民向け公開講座「東邦学園名東コミュニティカレッジ」を開設しています。

今春の講座では英語、食育、朗読などが行われています。

7月に開催される講座では、会場となる徳川美術

館の展示もご覧いただけます。

講座：『畑儀文さんと楽しむドイツ歌曲』

■日 時：7/18(日)、7/25(日)の両日とも
13:30～15:00

■場 所：徳川美術館

■受講料：1回2,000円(徳川美術館入館料込)

■申込み：TEL 052-782-1241(代表)

東邦学園名東コミュニティカレッジ

Web <http://www.tmcc.aichi-toho.ac.jp/>



1. 総括

1923年創立の東邦学園は2009年度に創立86周年を迎えた。役員などの任期満了に伴い、学園の理事・監事ならびに評議員が大幅に交代した。新役員それぞれが各領域の責任者として現場と直接的に関係を持ち、様々な事業を展開推進した。学園の将来構想を具体化する取り組みでは、大学部門が、昨年度の計画骨子を基礎に「大学中期事業計画」を立案した。高校部門は校内の検討チームで協議を重ねて意見を集約し、課題を中間的に整理した。

教学活動では、理事長が校長を兼務し、経営と教学との政策調整や大学と高校との接続・連携など協力関係が改善された。学生・生徒募集は安定した経営基盤を築く上で最重要課題である。更なる強化を図るために年度末に常任理事会のもと、大学部門の募集政策の立案から推進まで業務統括する専門機関を設置した。その他に大学部門における意思決定機構の再構築（大学協議会の設置）や教員免許更新講習認定校の申請、高校部門での学力向上プロジェクトの推進など教育活動に取り組んだ。

2. 主な事業の実施状況

(1) 創立100周年(2023年)を見通した将来計画の策定

① 中期事業計画の立案

大学部門では、経営戦略策定プロジェクトチームを設置して、内外の環境調査および分析を行い、学園の進むべき方向として「大学経営戦略計画」をまとめた。2010年度から2015年度までの6年間重点的に取り組む中期事業計画である。大学の教育ミッションとビジョンを定め、戦略的な目標領域として教育プログラムや教育システムの構築、社会連携・研究支援、学生生活支援など9つを設定、領域ごとに行動目標を掲げて実行する内容を明示した。大学はこの計画を単年度ごとに実行計画として具体化する。高校部門は事業課題を4つに区分、教職員が各テーマごとに検討を重ね、中間的にまとめた。

② 中期財政計画の実現

財政計画は、経常費補助金のうちの特別補助である「未来経営戦略推進経費」を申請したのを機に、大学部門を中心とした経営政策の総括とともに、中期財政シミュレーションを行った。また、財務統制の観点で予算編成から決算処理に至るまで財務運営サイクルの確立を目指して、業務を電算化するための調査研究を行った。

(2) 教学・経營業務執行基盤と管理運営の強化

① 理事の役割と人事体制の見直し

理事会は、運営体制の確立とガバナンスを強化するため、役員の刷新を契機として経営戦略・経営管理・教学・広報・社会教育連携と5つの領域について理事が業務を分担し、改善すべき課題を整理、基本方針や政策・運営を検討・具体化した。

② 教学と経営の一致した政策立案とその運営

教学法人協議会はこれまで、教学や経営の基本政策を立案する過程での調整的役割を果たしてきた。2009年度は本協議会を大学・高校ともに毎月2回開催し、定例化した。一方で、意思決定プロセスの正規機関として位置づけているものの、その運用は教職員全体に十分認知されなかった。今後は、学生

生徒募集や教育活動、人事・労務問題など財務に大きく係る政策に関して、決定手順を明示するとともに、本協議会を規程化するなど運営を明確にして周知を図り、円滑な組織運営を進める。

③ 学園全体での自己点検・自己評価活動の促進

自己点検・自己評価活動に学園全体として積極的に取り組むよう「自己点検・評価及び学校評価に関する規程」を制定した。諸活動が明確になり、担当理事のもと統括管理され、各部門にて確実に実施する体制と運営が整った。大学部門ですでに設置している自己点検自己評価委員会とあわせて、高校においても点検評価を担う機関を改めて明示した。今後は、2010年度大学で受審する第三者評価機関からの認証評価を手始めとして、外部評価の仕組みを積極的に活用して教育研究活動や管理運営の改善につなげる。

(3) 具体的な政策

① 東邦高校と愛知東邦大学の連携

これまでの高大連携協議会の機能を強化するため、社会・教育連携担当理事を責任者に据え、大学から副学長、高校から教頭を加えた体制に刷新した。法人企画広報課を事務局として教育連携プログラムの開発や施設の共同利用、学園の全教職員を対象とした教職員交流会を開くなど連携活動を活発化した。

② 広報・発信力の強化

イメージ戦略の最重要な広報ツールとして位置付けた学園Webページについては、大学・高校の統一したコンセプトのもと、高校部門を先行させてページをリニューアルした。デザインの見直しやデータ更新の仕組みなど改善を図り、情報発信力を強化したことにより前年度と比較してアクセス件数を大幅に伸ばして大きな効果があった。

③ 卒業生、後援組織を活かした学園支援体制の充実

協議を重ねてきた収益事業法人「株式会社イープロ」が2010年2月に設立を迎えた。今後は、学園と連携を強化して事業活動の範囲を徐々に広げて、寄付金収入の増加方策の有効手段としたい。

④ 奨学金制度の充実

学生・生徒への奨学支援策として、また学生・生徒の募集広報策として大学・高校共通の新たな奨学金制度の設立に向けて調査・研究を行った。

⑤ 学園諸規程の見直し

大学と高校において、労働条件に関する規程や諸経費に関する規程の内容が違うことから差異のある規程を一本化して運用上の不合理を是正した。

財務情報の開示

学校法人東邦学園の財務に関する下記の情報をご請求に応じて開示します。開示の対象者は学園の教職員、在学生又はその保護者・保証人、卒業生、債権者、入学希望者又はその保護者（保証人）です。

・ 計算書類

（資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表）

・ 予算書（資金収支予算書、消費収支予算書）

・ 事業計画書および事業報告書

・ 財産目録 ・ 監査報告書



2009(平成21)年度 東邦学園 財務の概要



2009年度の財務の概要について消費収支の前年対比は、収入は人間学部が3年目を迎えて、学園総学生数が2,751名となり、学生生徒等納付金収入が前年より9,866万円上回った。

補助金は、国庫補助金が1,021万円増え、1億5,283万円となったが、地方公共団体補助金の1,464万円減少し、7億4,695万円となり、補助金全体では443万円減少した。これらの結果、帰属収入合計では、1,927万円下回る28億4,733万円となった。

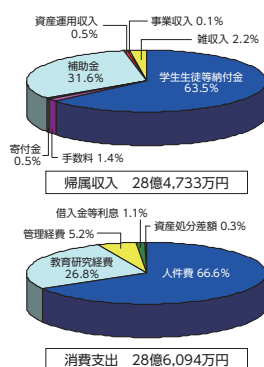
一方、支出では、教育経費の増加や蔵書整理による資産処分差額が増加したが、人件費が9,290万円減少して、19億518万円となり、管理経費も1億4,757万円と4,121万円減少した。よって消費支出の部合計は、昨年度を1億1,790万円下回る28億6,094万円となった。また、基本金の組入額は、機器備品・図書等に対する支出額と借入金返済による第1号基本金組入額が1億1,433万円となった。結果、2009年度の帰属収支差額は1,361万円の赤字となったが、昨年度よりは改善された。

収入支出の大科目別の割合については、右図のように学生生徒納付金収入63.5%、補助金収入31.6%と収入の95.1%を占めている。支出は、人件費が、全体の66.6%を占めているが、教育研究経費は26.8%であり、教育活動に必要な支出割合を守った。

2009年度の収支状況を、資金収支計算書の資金の流れ

でみると、収入額は、2010年度新入生の入学時納付金等の前受金等を含め32億9,471万円で、前年度より繰越された16億8,446万円を加えると、収入合計は49億7,917万円となった。一方、支出額は、人件費、教育研究経費、管理経費、借入金返済、施設・設備関係支出等31億8,330万円であったので、差し引き17億9,587万円が次年度への繰越支払資金となり、前年度末より資金が1億1,141万円増加した。

また、財政状態をみると、2009年度末現在の資産の総額は、111億2,984万円で、その内訳は有形固定資産70億1,558万円、その他の固定資産18億4,916万円および流動資産22億6,509万円となった。他方、負債の総額は、借入金、退職給与引当金、前受金など合計して42億982万円で、基本金は93億9,523万円となり、そのうち校地・校舎・機器備品・図書など教育・研究に必要な資産の自己資金調達額を示す第1号基本金が89億9,033万円となった。2009年度の消費支出超過額は、1億2,794万円で、2008年度末より1,102万円支出超過が減少した。



2009(平成21)年度 資金収支計算書

(単位: 千円)

科 目		20年決算	21年決算	差 異
収入の部	学生生徒納付金収入	1,710,603	1,809,272	98,669
	手 数 料 収 入	42,305	39,624	△ 2,681
	寄 付 金 収 入	8,411	14,312	5,901
	補 助 金 収 入	904,223	899,785	△ 4,438
	資 産 運 用 収 入	16,302	15,571	△ 731
	事 業 収 入	3,655	3,727	72
	雑 収 入	142,121	60,983	△ 81,138
	借 入 金 収 入	202,842	205,774	2,932
	前 受 金 収 入	394,463	362,369	△ 32,094
	そ の 他 の 収 入	433,663	545,885	112,222
	資金収入調整勘定	△ 766,965	△ 662,588	104,377
	前年度繰越支払資金	1,834,203	1,684,465	△ 149,738
合 計	4,925,826	4,979,178	53,352	
支出の部	人 件 費 支 出	2,026,268	1,900,822	△ 125,446
	教育研究経費支出	428,406	443,900	15,494
	管 理 経 費 支 出	182,691	141,153	△ 41,538
	借入金等利息支出	32,080	31,284	△ 796
	借入金返済支出	382,748	471,486	88,738
	施設関係支出	16,444	5,526	△ 10,918
	設備関係支出	36,145	35,723	△ 422
	資産運用支出	151,117	100,025	△ 51,092
	その他の支出	61,872	83,746	21,874
	資金支出調整勘定	△ 76,411	△ 30,365	46,046
	次年度繰越支払資金	1,684,465	1,795,878	111,413
	合 計	4,925,826	4,979,178	53,352

2009(平成21)年度 消費収支計算書

(単位: 千円)

科 目		20年決算	21年決算	差 異
消費収入の部	学生生徒等納付金	1,710,603	1,809,272	98,669
	手 数 料	42,305	39,624	△ 2,681
	寄 付 金	10,719	15,418	4,699
	補 助 金	904,223	899,785	△ 4,438
	資 産 運 用	16,302	15,571	△ 731
	事 業 収 入	3,655	3,727	72
	雑 収 入	178,800	63,941	△ 114,859
	帰 属 収 入 合 計	2,866,606	2,847,336	△ 19,270
	基 本 金 組 入 額	△ 26,708	△ 114,335	△ 87,627
消費収入合計	2,839,898	2,733,000	△ 106,898	
消費支出の部	人 件 費	1,998,085	1,905,180	△ 92,905
	教 育 研 究 経 費	754,273	767,215	12,942
	管 理 経 費	188,792	147,577	△ 41,215
	借 入 金 等 利 息	32,080	31,284	△ 796
	資 産 処 分 差 額	1,750	9,692	7,942
	徴収不能引当金繰入額	2,218	－	△ 2,218
	徴 収 不 能 額	1,653	－	△ 1,653
	消費支出合計	2,978,852	2,860,948	△ 117,904
	消費収支差額	△ 138,954	△ 127,948	11,006
	合 計	2,839,898	2,733,000	△ 106,898

※百の位を四捨五入し、千円単位で記入しています。



2010(平成22)年度 東邦学園 事業計画



1. 将来計画の実質化に向けての取組み

(1) 中期事業計画に基づく教学経営事業の推進

昨年度より検討を重ねてきた大学と高校の将来ビジョンである中期事業計画(マスタープラン)は、本年度、年次計画として各事業を整理し、明確に目標を設定する。また、目標の達成に向けて実行計画の立案とともに実施体制を整え、全教職員の一致した教育経営活動として取り組む。

(2) 第3次中期財政計画の立案

中期事業計画における各事業を実施するにあたり、財政的な裏付けや将来の見通しを明示するために「第3次中期財政計画」の策定に着手する。本年度は、大学の人間学部が完成年度を迎えることから、学園全体における学生・生徒の総定員数が最も多くなる。安定的な教育経営活動を実現するよう新たな中長期間にわたる事業並びに財政計

画を遅滞なく推進する。

2. 教学・経營業務執行体制の確立と実行

(1) 理事会の主体的な教学経営活動への参画

学園経営の最高意思決定機関として理事会の運営体制を一層充実させるために、各職務領域の担当理事を中心に業務内容を具体化する。同時に執行可能な組織体制を確立して、担当理事の執行責任において学園事業を推進するよう環境を整備する。また、教学組織との連携関係を密に円滑な組織運営を実現する。

(2) 教学・経営組織と連携した重点施策への取組み

教学法人協議会は、教学と経営それぞれの政策を多角的に調整する役割として定着した。今後もこの協議会を政策調整機関として中心に位置づけ、特に大学・高校の学生生徒募集活動や高校大学との教育連携活動、教育環境の整備、人事・労務関係など学園経営の根幹に関わる重点事項については、理事会のもとに専門委員会を設けるなど自立した教学組織との共同運営を円滑に図る。

(3) 学園の自己点検評価の実施とその改善

大学において本年度受審する第三者機関による認証評価を契機に、高校も含めた学園全体として外部評価制度を推進し、客観的な評価結果に基づく教育研究活動や管理運営の改善につなげる。

3. 理事会が主導する具体的な政策

(1) 学生・生徒の募集活動

安定的な財政基盤を築くため、専門委員会を設置して理事会による募集方針のもとで、募集戦略の立案と実施を支援する全学的な体制を整え、学生・生徒の募集活動の強化を図る。

(2) 予算編成と財務統制

各年度単位で収支の均衡を保ち、財務の適正化やリソースの最適化を図るため予算編成・執行の統制管理を組織的に行い、本学園独自の財務運営サイクルを確立する。学内外のステークホルダーに対しては説明責任を果たすべく、様々な媒体を活用してわかりやすく情報を開示して、理解と協力を求める。

(3) 大学と高校に一体感を育む全教職員間の高大連携

特別授業や各種クラブ活動など高校と大学における教育連携や施設の共同利用、学園諸行事を通じて、高校と大学の教職員間の情報交流や学園一体の運営を意識した日常的な教学活動の機会を増やす。

(4) 広報の充実と情報の発信

学園のイメージ向上やブランディング戦略として、積極的な情報収集とWebページを中心に全ての広報媒体を学園の一貫したコンセプトのもと、効果的な広報と情報発信を行う。

(5) 後援組織を活かした支援体制づくり

同窓会や父母会、フレンズTOHOなどこれまでの学園支援団体に加え、特に昨年度設立した学園の収益法人である㈱イープロと具体的な業務連携を推進して、後援組織とより強固な関係を築き、学園運営に活かす。

(6) 新たな奨学金制度の展開

経済困窮による学生・生徒に対して幅広く学修の機会を保護する目的で、奨学支援措置として大学・高校の様々な奨学制度を一元化して奨学基金制度を制定する。

(7) 情報インフラ基盤の整備

大学・高校における情報システムの管理・運営業務を学園全体として円滑に遂行するために、学園統括の情報システム管理責任者等を配置して、大学・高校における情報システムの管理運営の整備・充実を図る。

2010(平成22)年度 東邦学園予算の概要

2010年度予算は、3月20日の評議員会において意見を聞き、3月23日の理事会で決定、承認されました。

学校法人会計基準に従い会計処理を行っております。この基準に定められた「資金収支計算書」「消費収支計算書」を開示いたします。

平成22年度資金収支予算書(概要)

(単位：千円)

科 目		21年補正	22年予算	補正との差額	主な増減理由
収入の部	学生生徒納付金収入	1,806,810	1,767,810	△ 39,000	高校授業料軽減補助金制度の変更(授業料から補助金への振替え)
	手 数 料 収 入	41,360	41,420	60	
	寄 付 金 収 入	8,800	13,800	5,000	
	補 助 金 収 入	906,840	1,018,710	111,870	高校授業料軽減補助金制度の変更
	資 産 運 用 収 入	15,010	15,680	670	
	事 業 収 入	1,480	1,260	△ 220	
	雑 収 入	51,310	122,740	71,430	高校退職金財団からの交付額
	借 入 金 収 入	206,810	0	△ 206,810	高校授業料軽減補助金制度の変更
	前 受 金 収 入	357,470	357,420	△ 50	
	そ の 他 の 収 入	533,380	457,840	△ 75,540	高校退職金財団からの交付額
	資金収入調整勘定	△ 648,800	△ 439,770	209,030	大学入学者減員による前受金の減収 高校授業料軽減補助金制度の変更
前年度繰越支払資金	1,684,465	1,686,605	2,140		
合 計	4,964,935	5,043,515	78,580		
支出の部	人 件 費 支 出	1,905,490	1,976,680	71,190	高校教員の増員と退職者増による退職金額の増額
	教育研究経費支出	492,550	448,010	△ 44,540	大学研究費の削減 高校諸活動助成費の振替え
	管 理 経 費 支 出	160,510	155,460	△ 5,050	
	借入金等利息支出	31,300	29,820	△ 1,480	
	借入金返済支出	472,950	492,130	19,180	金融機関への借入(高校校舎)返済額の増額
	施設関係支出	10,440	7,480	△ 2,960	
	設 備 関 係 支 出	44,410	23,420	△ 20,990	施設充実費の減額
	資 産 運 用 支 出	81,800	115,630	33,830	大学第2号基本金組入
	そ の 他 の 支 出	80,550	56,670	△ 23,880	大学前期末未払金の減少
	予 備 費	50,000	30,000	△ 20,000	
	資金支出調整勘定	△ 51,670	△ 51,670	-	
	次年度繰越支払資金	1,686,605	1,759,885	73,280	
	合 計	4,964,935	5,043,515	78,580	

平成22年度消費収支予算書(概要)

(単位:千円)

収 入 の 部				支 出 の 部			
科 目	21年補正	22年予算	補正との差額	科 目	21年補正	22年予算	補正との差額
学 生 生 徒 等 納 付 金	1,806,810	1,767,810	△ 39,000	人 件 費	1,910,340	1,976,570	66,230
手 数 料	41,360	41,420	60	教 育 研 究 経 費	817,180	769,950	△ 47,230
寄 付 金	9,610	14,920	5,310	管 理 経 費	167,250	161,320	△ 5,930
補 助 金	906,840	1,018,710	111,870	借 入 金 等 利 息	31,300	29,820	△ 1,480
資 産 運 用	15,010	15,680	670	資 産 処 分 差 額	9,870	-	△ 9,870
事 業 収 入	1,480	1,260	△ 220	徴 収 不 能 額	730	-	△ 730
雑 収 入	53,180	122,740	69,560	予 備 費	50,000	30,000	△ 20,000
帰 属 収 入 合 計	2,834,290	2,982,540	148,250				
基 本 金 組 入 額	△ 115,510	△ 177,570	△ 62,060				
消 費 収 入 合 計	2,718,780	2,804,970	86,190	消 費 支 出 合 計	2,986,670	2,967,660	△ 19,010
				消 費 収 支 差 額	△ 267,890	△ 162,690	105,200
				合 計	2,718,780	2,804,970	86,190

※百の位を四捨五入し、千円単位で記入しています。

学園の人事構成

【2010年7月1日現在】

本年度の学園の人事構成は下記の通りです。

◆役員・評議員

理 事 長：榊 直樹
理 事：山極 完治、山本 正彦
磯部由美子、塩澤 敏明
御園慎一郎、福島 一政
村田 浩子、増田 貴治
監 事：石川 元廣、鈴木 基仁
評 議 員：岡部 一明、成田 良一
堀田 時弘、山本 正彦
磯部由美子、長沼 均俊
水谷 光博、森井 勝也
戸谷 正行、森川 早苗
塩澤 敏明、鈴木 健治
中野 修宏、大河 哲男
大矢 正成、川竹 敬三
川村 秀男、柴田長兵衛
遠山 真人、鍋島 知行
嶺木 昌行

◆法人事務局

法人事務局長：増田 貴治
法人事務局次長：堀田 時弘
以下大学同役職兼ねる
総 務 課 長：二宮加代子
経 理 課 長：柴田千登勢
企 画 課 長：西 弘美
(大学：企画課長)
広 報 課 長：堀田 時弘
(大学：入試広報課長)
総務課長補佐：藤川 久孝、谷川 智代
広報課長補佐：奥田 緑、村上 道治
(大学：入試広報課長補佐)

◆大学

学 長：山極 完治
副 学 長：成田 良一
経 営 学 部 長：岡部 一明
経営学部地域ビジネス学科長：浅生 卯一
人 間 学 部 長：山本 正彦
人間学部人間健康学科長：石川 幸生
人間学部子ども発達学科長：古市 久子
図 書 館 長：浅生 卯一
情報システムセンター長：高木 靖彦
学修教育支援センター長：山極 完治
学修教育支援センター長：澤田 節子
地域創造研究所長：宗貞 秀紀
入 試 委 員 長：杉谷 正次
教育支援委員長：矢藤誠慈郎
キャリア支援委員長：深谷 和広
生活支援委員長：小野 隆生
図 書 館 委 員 長：浅生 卯一
情報システム委員長：高木 靖彦
地域国際交流委員長：今尾 雅博
総 務 委 員 長：松村幸四郎

◆大学事務局

大 学 事 務 長：増田 貴治
大 学 事 務 次 長：堀田 時弘
学 修 支 援 課 長：齋藤 周一
就 職 課 長：長島 賢
生活支援課長兼学術情報課長：藤井 玲子
学修支援課長補佐：新村 健
就 職 課 長 補 佐：貫名 正樹
生活支援課長補佐：阪口 将史
学術情報課長補佐：黒柳 好子
〃：河村 宜明

◆高等学校

校 長：榊 直樹
教 頭：長沼 均俊
〃：藤本 紀子
顧 問：高井 茂雄
校 務 部 長：寺島多岐夫
教 務 部 長：川邊 雅志
生 活 指 導 部 長：高倉 清文
事 務 部 長：松浦紀代史
会 計 課 長：袴田 克彦
渉 外 企 画 室 長：小嶋 裕人
進 学 指 導 室 長：森田 美樹
職 業 指 導 室 長：大島 正和
国 際 交 流 室 長：河野 芳江
保 健 指 導 主 事：渡邊 素幸
メディアセンター長：森井 勝也
生 徒 会 正 顧 問：岡本 洋美
学年主任第1学年：中林 幹雄
学年主任第2学年：佐々木泰裕
学年主任第3学年：加藤 元雄
教科主任 国語科：吉山奈緒子
〃 社会科：木村 剛
〃 数学科：水谷 光博
〃 理科：小島 大介
〃 保健体育科：谷 浩充
〃 芸術科：竹田 正美
〃 英語科：松原 聡子
〃 家庭科：山田 博子
〃 商業科：大上 雄示

行事予告

愛知東邦大学

経営学部 地域ビジネス学科

人間学部 人間健康学科 子ども発達学科

◆オープンキャンパス

7/11(日)、7/25(日)、8/4(水)、8/22(日)

10/3(日)、11/20(土)【大学祭共催】

受付：9:00～10:00

開始：10:00

◆大学祭

11/20(土)、21(日)



東邦学園同窓生 特別入試

愛知東邦大学・東邦学園大学・東邦学園短期大学・東邦高等学校の卒業生の子または兄弟に対して特別入試を実施します。特典として愛知東邦大学入学金が半額となります。

一般入試に比べ条件も有利です。ぜひこの機会にご利用ください。

【お問い合わせ】

愛知東邦大学 入試広報課

電話：052-782-1600 (直通)

東邦高等学校

普通科(普通・文理特進)

商業科(情報・経理・グラフィックデザイン)

美術科

夏休み～秋にかけて実施される

★中学生対象の行事 ★中学生が参加できる行事
を紹介します。

★美術科夏期講習会 ※どちらか1日、要申込

7/28(水)、29(木) 9:00～15:00

★普通科・商業科夏休み1日体験セミナー

8/4(水)、8/5(木) ※要申込

それぞれ9:00～11:30、13:00～15:30

★部活動見学会 ※事前申込不要

9/4(土) 10:00～12:00

★文化祭 ※中学生は、制服+生徒手帳持参で入場可

9/25(土) 9:30～14:00

★学校説明会 ※事前申込不要

10/30(土)、11/13(土)、11/27(土)、12/4(土)

いずれも10:00～

★美術科説明会 ※事前申込不要

10/30(土) 13:00～

★中学生英語スピーチコンテスト ※要申込

11/3(水・祝)

★グラフィックデザインコース講習会&説明会

11/13(土) 10:00～ ※要申込

★未来の芸術家たち展 ※入場無料

11/23(火・祝)～11/28(日) 愛知県美術館にて

★吹奏楽部定期演奏会 ※要チケット

2011/1/6(木)

なお、詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.toho-h.ed.jp/>



TOHO gallery 東邦ギャラリー

5月9日

名東の日 区民まつり 開催



青空の下
東邦でにぎやかに



大学図書館で
絵本の読みきかせ



名古屋市のマスコット
「はち丸」君と



模擬店も
盛りだくさん



三線で沖縄ムードに

小中学生将棋大会は
真剣そのもの

